

動詞コピー構文の動賓フレーズに関する分析

— 「動+動」構造を中心に—

楊麗栄

Abstract

This paper examines the Verb-copying sentence of the “V+V” structure, within which verbs can be classified as separable verbs and non-separable verbs. Through the analysis, we concluded the following: 1) PB type verbs, expressive passive verbs used in the first position, and binding verbs representing full meanings can be used; 2) because AR type verbs already express resultative meanings, they cannot be used; 3) A≈B type verbs may be used if the verb (A) can replace the second verb (B); 4) for the A+B type verbs, the verbs cannot be used because the first and the second verb express different meanings.

キーワード……動詞コピー構文 動賓フレーズ 離合詞 不可離詞 動動式

1 はじめに

動詞コピー構文は日常会話においてよく使われる構文であるうえに、非常に特徴のある構文でもある。本研究の目的は「動+動」で構成される動詞コピー構文の動賓フレーズの「賓」の特徴を明らかにすることである。先行研究においては、動詞コピー構文の動賓フレーズの「賓」に関しては、名詞に重点が置かれ、動詞で構成される「賓」の分類及びその動詞の本質の相違についてはあまり議論されていないように思われる。したがって、本研究ではこれまで論じられてこなかった「動+動」で構成される動賓フレーズの「賓」の意味分析を行い、その特徴を考察する。なお、出典を付していない例文はすべて筆者による作例である。

2 動詞コピー構文とは

動詞コピー構造はいまから二、三百年前、《红楼梦》(初版は乾隆五十六年(1791年)である)の時代に現れた文法構造である(李訥・石毓智 1997:32)¹⁾。

例えば、歌を歌って有名になるような事象を述べる場合、(1a)のような言い方もあれば、(1b)のような言い方もある。

- (1) a. 他唱歌出了名。(彼は歌を歌って、有名になった。)(赵新 2002:30)
- b. 他唱歌唱出了名。(彼は歌を歌うことで、有名になった。)(*ibid.*)

(1b)では(1a)の“唱歌(歌を歌うこと)”の述語“唱(歌う)”を“歌(歌)”の後ろで再度使うことで、動詞コピー構文が形成されている。(1b)は彼が有名になった理由は歌ったことにあるが、(1a)は歌ったことで彼が有名になった可能性もあれば、歌った際の他の理由(例えば、衣装が一風変わっていたことなど)で有名になった可能性も含意している。

動詞コピー構文は V_2 に後続する成分が、補語であるか目的語であるかによって、二種類に分けることができる(刘雪芹 2013:183)。その一つは「 $S+V_1O_1+V_2R$ 」のタイプであり、もう一つは「 $S+V_1O_1+V_2O_2$ 」のタイプである²⁾。Sは主語を表し、 V_1 と V_2 が同じ動詞である点に特徴がある。 O_1 と O_2 はそれぞれ動賓フレーズと動補フレーズの目的語を表し、Rは補語を表す。刘雪芹(2011・2013)は前者を「動補型(述补式)」動詞コピー構文と称し、後者を「動賓型(述宾式)」動詞コピー構文と称している。本研究は結果構文という枠組み内で、動詞コピー構造を研究するため、「 $S+V_1O_1+V_2R$ 」のタイプのみ研究対象とする。

「 $S+V_1O_1+V_2R$ 」のタイプに関しては、「動賓(動詞+目的語)」フレーズと「動補(動詞+補語)」フレーズから構成されていると広く認識されている(王红旗 2001、唐翠菊 2001、刘雪芹 2011・2013、刘培玉 2012)。補語の語義と構造上の特徴に基づき、「 $S+V_1O_1+V_2R$ 」タイプの典型的な例をいくつかみよう。

- (2) a. 宝玉想晴雯想呆了³⁾。(施春宏 2010:99)
(宝玉は晴雯を想って、呆然としている。)
- b. 她看电影看哭了。
(彼女は映画を見て泣いてしまった。)
- c. 他想儿子想得都要发疯了。(唐翠菊 2001:80)
(彼は息子を想って狂いそうになっている。)
- d. 他看书看到两点。(李纳・石毓智 1997:33)
(彼は2時まで本を読んでいた。)
- e. 他切菜切破了手。(ibid.)
(彼は野菜を切った時に、手を切ってしまった。)

(2a)の補語“呆(呆然としている)”は形容詞であり、(2b)の補語“哭(泣く)”は裸動詞である。一方、(2c)の補語は「得」構造が用いられ、(2d)は時量詞が用いられている。(2e)は動補フレーズ“切破(切って破れた)”の後ろに、もう一つの目的語“手(手)”が後続している。(2a)-(2e)の補部は様々な形式が観察されるが、動賓フレーズの「賓」に相当する成分“晴雯(晴雯)”、“电影(映画)”、“儿子(息子)”、“书(本)”、“菜(野菜)”はすべて名詞であることが共通している。先行研究は主に(2a)-(2e)のような、動賓フレーズの「賓」として働く名詞成分について分析が行われてきた。しかしながら、以下の(3)-(6)のように、動賓フレーズの「賓」においては、動詞

成分も見られるにもかかわらず、先行研究は「動+動」で構成される動賓フレーズの特徴をほとんど言及していない⁴⁾。

(3) 其实小邪已是挨打挨习惯了。(BCC:李凉《杨小邪》)

(実は邪さんは叩かれることにはもう慣れている。)

(4) *家具拆散拆完了。

(5) 她咳嗽咳醒了。(彼女は咳をして目が覚めた。)

(6) *这件事情研究研好了吗?

(3)-(6)はすべて「動詞+動詞」で構成されているが、(3)と(5)は適格な文である一方、(4)と(6)は非文になるのはなぜであろうか。

その理由を解明するために、本研究は「動+動」で構成される動賓フレーズを大きく二種類に分類して比較対照することで、先行研究では十分に明らかにされてこなかった「動+動」で構成される動賓フレーズの「賓」の特徴を明らかにする。

3 動賓フレーズの「賓」に関する先行研究と問題点

動賓フレーズの「賓」に相当する目的語については、多くの学者により論じられてきた(范晓 1993、李讷・石毓智 1997、王灿龙 1999、王红旗 2001 杨玉玲 2004、钟晓勇 2010、刘雪芹 2000・2011・2012・2013)。

项开喜(1997:261)は主に動詞コピー構文の動賓フレーズの「賓」として働く名詞の“有指(有標)”、“无指(無標)”に重点を置き、動詞について分析していない⁵⁾。

王红旗(2001:9-11)は動結式動詞コピー構文の「賓」について直接に述べてはいないが、動賓フレーズの述語に相当する動詞は他動詞でなければならないことを指摘している。“站队(列に並ぶ)”、“跳舞(踊る)”、“站岗(歩哨に立つ)”、“睡觉(寝る)”などの離合詞は述語が自動詞であるが、第二形態素がしばしば目的語として取り扱われることがあり、“站(立つ)”、“跳(飛ぶ)”、“睡(寝る)”は他動詞として見なすことができると王红旗(2001:11)は主張する。しかしながら、王红旗(2001:9)は、“咳嗽(咳をする)”のような「離合詞」ではない「動詞+動詞」のパターンについては単に動詞コピー構文と共起できないという結論に留まっている。では、“咳嗽”のような構造の動詞は本当に動詞コピー構文と共起できないのであろうか。

刘雪芹(2011:36)は、動詞コピー構文の動賓フレーズに使える目的語の種類(ランダムに 1044 の動詞コピー構文の例文を抽出した結果)を表 1 のようにまとめている。

表 1 前宾语分布情况一览表(動賓フレーズの「賓」の分布状況一覧表⁶⁾)

	数量	百分比(%)
名詞性成分	961	92.05
代詞	65	6.23
動詞性成分	18	1.72
合計	1044	100

(刘雪芹 2011:36 による)

刘雪芹(2011:36)が示した表 1 からわかるように、動詞コピー構文の動賓フレーズの「賓」になるものは、名詞、代名詞以外には動詞成分も含まれる。また、刘雪芹(2012:93-94)は「賓」に相当する動詞は主に“遭受类”の動詞であると指摘している⁷⁾。しかしながら、刘雪芹(2011・2012・2013)は動詞が「賓」になる場合の動詞分類と語義分析はしておらず、動詞成分で構成される動賓フレーズが少ない理由も考察していない。

4 「動+動」で構成される動賓フレーズの分類と意味分析

本研究は V₁ と O₁ の融合緊密度に基づき、「動+動」で構成される動賓フレーズを大きく離合詞と不可離詞の二種類に分ける。さらに、離合詞を PN 型と AR 型に下位分類し、不可離詞を「A≒B」型と「A+B=AB」型とに下位分類する。この四種類の概念については 4.1.1 節で説明する。

4.1 離合詞

離合詞とは二つ以上の形態素の間に他の成分を挿入することのできる語である(出羽達也 2008:217)。いわば、「離」と「合」のどちらもできる語である。例えば、“睡觉(寝る)”、“毕业(卒業する)”などが挙げられる。“睡觉”は“睡(寝る)”と“觉(眠り)”の間に助詞“了”を挿入し、“睡”と“觉”を離すことができる。一方、“了”を削除すれば、“睡”と“觉”は一体化し、“睡觉”という語になる。離合詞を分類する方法は様々あるが、本研究では、離合詞の内部構造に基づく分類法を採用し、離合詞を動賓式、動補式、主述式の三種類に分ける(周飞 2011:133)。このうち、動賓式は“动名式(「動詞+名詞」型)”、“动动式(「動詞+動詞」型)”、“动形式(「動詞+形容詞」型)”に下位分類され、動補式は“动形式(「動詞+形容詞」型)”、“动动式(「動詞+動詞」型)”の二種類に下位分類される。本研究は離合詞に関しては、動賓式と動補式の“动动式(「動詞+動詞」型)”を取り上げて考察を行う。

4.1.1 PB 型

離合詞 PB 型は前項動詞 P(Passive)が受け身の意味を持ち、後項動詞 B は具体的な動作を表すタイプを指す。

- (7) 我挨批挨怕了。(よく叱られるので、怖くなった。)
 (8) 我们挨宰挨怕了。(よくぼったくりされたので、怖くなった。)
 (9) 他挨整挨怕了。(彼はひどい目に遭わせられたので、怖くなった。)
 (10) 她挨骂挨惯了。(彼女はよく叱られるので、慣れてしまったようだ。)

(7)-(10)“遭受类”動詞を使用しているため、すべて(11b)-(14b)のように、前項動詞 A を“被”に入替え、「被」構文に変形することができる。変形後、文の意味はほとんど変わらないことが観察される。

	P	B		B	
(11) a.	我	挨 批	挨怕了。	b.	我被 批 怕了。
(12) a.	我	挨 宰	挨怕了。	b.	我被 宰 怕了。
(13) a.	我	挨 整	挨怕了。	b.	他被 整 怕了。
(14) a.	我	挨 骂	挨惯了。	b.	她被 骂 惯了。

(11a)-(14a)は前項動詞“挨(殴る・蹴るなどのひどい目に遭う)”は受け身の意味だけ伝わり、具体的に何がされたのか不明な状態である。故に、後項動詞“批(批判する)”、“宰(高い値段を吹っかける)”、“整(ひどい目に遭わせる)”、“骂(ののしる)”などの動作動詞の助けを借り、前項動詞“挨”の具体的な状況を説明している。つまり、ここでの前項動詞“挨”は一種類の文法形式に相当し、具体的な動作を表す動詞と組み合わせることにより、一つの事象が表される。

一方、(11a)-(14a)の“挨批(叱られる)”、“挨宰(高い値段を吹っかけられる)”、“挨整(ひどい目に遭わせられる)”、“挨骂(叱られる)”の後項動詞“批”、“宰”、“整”、“骂”は(15)-(18)のように、“批评(叱る)”、“宰割(搾取をする)”、“整治(懲らしめる)”、“责骂(叱る)”に変わっても意味はほとんど変わらない。

- (15) 我挨 批评 挨怕了。
 (16) 我挨 宰割 挨怕了。
 (17) 我挨 整治 挨怕了。
 (18) 我挨 责骂 挨惯了。

朱德熙(1982:60、1985:2)が下した“名动词”の判断基準によると、動詞は名詞、“有”、また“进行”で直接修飾できる場合は、この動詞が名詞の機能を持っていると指摘する⁸⁾。この基

準により、(15)-(18)の“批評”、“宰割”、“整治”、“责骂”を検索エンジン BCC で確認したところ、“文艺批评(文芸批判)”、“进行宰割(搾取をする)”、“房屋整治(家屋を修復する)”、“恐有责骂上身(叱られることを恐れる)”などの例が確認できた。言い換えれば、“挨”の後ろの後項動詞はすべて名詞機能に相当する動詞が担っているため、動詞コピー構文と共起することができたのである⁹⁾。この点に関しては、先行研究では説明されてこなかった。

4.1.2 AR 型

離合詞 AR 型は後項動詞が結果を表す結果補語で構成されるタイプを指す。A は前項動詞を指し、R は結果義(Resulative)を表す補語のことを意味する。

- (19) *我驳倒驳赢了。
- (20) *家具拆散拆完了。(=(4))
- (21) *杯子打破打坏了。
- (22) *山火扑灭扑完了。
- (23) *敌人打垮打赢了。

(19)-(23)は動補式の「動+動」タイプであり、すべて結果を表す後項動詞と前項動詞の結合である。ここでの動賓フレーズの後項動詞、言い換えれば、補語の“倒(倒す)”、“散(バラバラになる)”、“破(壊れる)”、“灭(消える)”、“垮(崩れる)”はすべて“有界(終端あり)”動詞であり、前項動詞の結果、或いは状態を表している¹⁰⁾。動詞コピー構文においては、動賓フレーズは発生した事象がなにかを客観的に陳述し、動補フレーズは動賓フレーズの結果や状態を具体的に描く。動賓フレーズは“无界(終端なし)”、動補フレーズは“有界”でなければならないことが明らかである。(19)-(23)の「動+動」で構成される離合詞 AR 型は、後項動詞“倒”、“散”、“破”、“灭”、“垮”がすでに結果を表現しているため、動詞コピー構文の動賓フレーズには容認されない。

4.2 不可離詞

不可離詞とは「動」と「賓」の間にはいかなる形態素も入れることが容認されない語を指す。

4.2.1 「A≡B」型

「A≡B」型とは前項動詞の A は意味上、後項動詞の B と類似の意味を表し、いわゆる類義語であるタイプを指す。

- (24) 用不到一个月的时间，2 台设备从电炉到电控系统保质保量全部安装安毕。(CCL:《报刊

精选》1994年)

(一ヶ月もしないうちに、電子炉と電子制御システム二台の設備が質・量を共に保証され、すべて設置完了した。)

(25) 我扶着他，直等到他咳嗽咳够了。(CCL:《呼啸山庄》)

(彼の咳が鎮まるまで待っていた。)

(26) 改革改出了“油水”。(CCL:《人民日报》1998年)

(改革で「利益」が出た。)

(27) 男人赌博赌输了一屋的家具，而且移情别恋。(CCL:《报刊精选》1994年)

(男性は賭博で負けて部屋中の家具を失い、そのうえ心変わりもした。)

(28) 而今怎么也没想到，城市人口已超过1700万的上海，竟然公开招聘都招不到能讲一口“正宗”上海话的节目接班人。(BCC:《文汇报》2003年6月)

(今では考えられないが、都市人口1700万の上海で、公募で「純粹」な上海なまりを喋れる司会後継者を一人も募集できなかった。)

(29) 栾城县农业结构调整调出高效。(CCL:《新闻报》2001年3月)

(栾城県は農業の構造を調整して、効率が高まった。)

(24)-(29)の動賓フレーズ、“安装(設置する)”、“咳嗽(咳をする)”、“改革(改革する)”、“赌博(賭博する)”、“招聘(招聘する)”、“调整(調整する)”はすべて離合詞ではない「動詞+動詞」の構造を用いるが、適格な文である。それはなぜであろうか。

以下では(24)-(29)の例文をわかりやすく説明するために、動詞コピー構造を含む部分だけ切り取って分析する。動賓フレーズ全体をABと表すことにする。

	A	B		A	B
(30) a.	安	装	安毕了	b. 安	毕了
(31) a.	咳	嗽	咳够了	b. 咳	够了
(32) a.	改	革	改出了“油水”	b. 改	出了“油水”
(33) a.	赌	博	赌输了	b. 赌	输了
(34) a.	招	聘	都招不够	b. 招	不够
(35) a.	调	整	调出高效	b. 调	出了高效
				c.	整
					出了高效

(30a)では“安”も“装”も「設置する」という意味を、(31a)“咳”も“嗽”も「咳をする」という意味を、(32a)の“改”は「変える」、「革」は「革命する」という意味を、(33a)“賭”は「かけ事をする」、「博」は「賭ける」という意味を表している。また、(34a)では“招”は「招く」、「聘」は「招く、招聘する」という意味を、(35a)の“調”は「調整する」、「整」は「整理する」という意味を表している。言い換えれば、(30a)-(35a)の動賓フレーズのAとBはどち

らも類義語であることがわかる。そのため、(30a)-(35a)の AB を A にしても、意味はほとんど変化しない。その反面、(30a)-(35a)の AB を B にすると、すべて非文になってしまう結果になる。

以上の分析から明らかになったのは、不可離詞「A≡B」型の場合、A は主動詞として考えられ、語義上では欠けてはいけない成分である。逆に、B は語義上必要成分ではなく、“盈余成分(余剰成分)”であることがわかる。

A と B と AB 三者の意味上の関係は次のように表すことができる。

$$A \equiv B \quad AB \equiv A$$

このような「A≡B」型は、A と B、AB と A はほぼ同じ意味を表し、補語は同じ事象の結果または状態を説明することができるため、動詞コピー構文と共起することができたのである。

4.2.2 「A+B=AB」型

「A+B=AB」型とは、異なる事象 A(前項動詞)と事象 B(後項動詞)の結合により、AB という新事象が発生するタイプを言う。このタイプによく見られるのは、1. 時間軸上において動作 A と B が継起し、AB の意味を成しているタイプ。2. 前項動詞 A は後項動詞 B を修飾説明し、B という動作の具体的な状態を表現している。

- (36) *这件事情研究研好了吗?
- (37) *黄金提炼提出了 1 公斤。
- (38) *你以为父母包办就可以包好吗?
- (39) *伴奏伴得不错。
- (40) *那件事拜托拜好了。

(36)-(40)はすべて非文である。(36)-(38)は A の動作が先に起こり、その後、B の動作が起こるタイプである。(39)-(40)の前項動詞“伴(伴に)”、“拜(敬意を払う)”はそれぞれ“奏(演奏する)”、“托(頼む)”はどの方法で行われているのかを説明している。その動賓フレーズの「動+動」の部分分解して観察しよう。

- (41) A. “研”: 磨く。/ B. “究”: 追及する、極める。
A+B: “研究”: 研究する。
- (42) A. “提”: 引き出す。/ B. “炼”: 精練する。
A+B: “提炼”: 精製する。
- (43) A. “包”: 引き受ける。/ B. “办”: やる、する。
A+B: “包办”: 独断専行する。

(44) A. “伴”：お供をする。/ B. “奏”：演奏する。

A+B: “伴奏”：伴奏する。

(45) A. “拜”：敬意を払う。/ B. “托”：頼む。

A+B: “拜托”：お願いする。

(41)-(43)の動賓フレーズの共通点としては、Aの段階を経てBの段階に入るというプロセスを表している。(41)の“研”は「みがく」という意味で、“究”は研究内容を究めることを含意する。(42)はある物質から必要なものを引き出し、その後、精錬するというプロセスを表現している。(43)はある仕事を引き受けてから処理するという意味を表す。(44)-(45)の動賓フレーズの共通点としては、前項動詞Aによって、後項動詞Bの具体的な状態が表されている。(44)は伴って演奏し、(45)は敬意を払って相手に頼み事をするという意味である。

AとBとAB三者の意味上の関係は以下のように表すことができる。

A+B=AB

上記の意味関係でわかるように、AとBは異なる二つの事象を表現し、AとBが組み合わさることにより、ABという新事象を作り出している。(41)-(43)と(44)-(45)のタイプは異なるが、二つの異なる事象で一つの新しい事象を表していることに変わらない。この場合は、同じ補語で異なる二つの事象を同時に説明することが困難であるため、「A+B=AB」型は動詞コピー構文と共起しにくいことが明らかである。この特徴は不可離詞「A≒B」型と明確に区別される。この形態の構造が「動+動」において数多く占めていることが、動詞コピー構文と共起できる「動+動」の動賓フレーズが少ない理由である。

5 まとめ

本稿では結果構文という大きな枠組みの中で、「動詞+動詞」で構成される動詞コピー構文の動賓フレーズの語義及び構造を分析した結果、その特徴を以下のように明らかにした。第一に、離合詞PB型は前項動詞が具体的な意味を持たず、文法形式の一種類であるため、前項動詞と後項動詞の組み合わせにより、まとまった一つの意味として捉えられる。さらに、後項動詞は名詞成分として見なすことができるゆえ、動詞コピー構文と共起することができる。第二に、離合詞AR型は、後項動詞はすでに結果を表しているため、動詞コピー構文と共起できない。第三に、不可離詞「A≒B」型は前項動詞と後項動詞は類義語であり、ABは前項動詞と入れ替えても文の意味がほとんど変わらない。この場合、同じ補語で同じ事象を説明することができるため、動詞コピー構文と共起することができる。第四に、不可離詞「A+B=AB」型はAとBは時間軸において継起し、AとBが組み合わさることによりABという意味を作り出す。または、AがBの具体的な方法を表す場合には、同じ補語で二つの異なる事象を同時に説明することが困難であるため、動詞コピー構文と共起できない。

以上のことを表にまとめると表 2 の通りである。

表 2. “动动式” 動賓フレーズと動詞コピー構文との共起状況

種 類	共起状況
PB 型	○
AR 型	×
A≡B 型	○
A+B=AB 型	×

<注>

- 1) 《红楼梦》は中国の四大名著の一つである。前 80 回は曹雪芹により書かれ、残りの 40 回は高鶚により書かれている。
- 2) “我摸奖摸了一台电视。(私は宝くじでテレビが一台当たった。)”は「S+V₁O₁+V₂O₂」タイプの例である。
- 3) “宝玉”と“晴雯”は《红楼梦》に登場する人物である。
- 4) 動詞成分とは動詞以外に、動賓フレーズも含む。例えば、“小张惦记着去北京惦记很久了(張さんは北京に行くことを長く気にしていた)。”
- 5) “有指”とは特定のものを指す。例えば、“*喝这瓶酒喝醉了”という文において、“这瓶”は他の酒ではなく、「この一本」と酒を特定している。一方、“无指”とは特定なものではなく、一般的なもの指す。例えば、“喝酒喝醉了(お酒を飲んで酔っぱらってしまった)”。ここの“酒(酒)”は酒の総称を指している。
- 6) 日本語訳は筆者による。
- 7) “遭受 類の動詞とは“受(被る)、遭(遭遇する)、挨(被る)、蒙(…される)、受到(被る)、遭到(見舞われる)、遭受(遭う)、蒙受(被る)、禁受(我慢する)、经受(耐える)、承受(耐える)、承蒙(受ける)”などを指す(王一平 1994:1)。
- 8) “名动词”の判断基準は朱德熙(1982:60;1985:2)を参照されたい。
- 9) “分居(別居する)”と“改嫁((女性が)再婚する)”などの「動+動」離合詞は、“被”構文に変形できず、動詞コピー構文と共起しにくい。以下の例文の容認度を母語話者のインフォーマントチェックを受けた。(1)“?他们分居分久了, 现在就如同陌路人(彼らは別居してからもう長いので、いまの二人はまるで赤の他人のようだ。)”という文に関しては、自然/不自然の判断は 4 対 6 である。(2)“*她这次改嫁改得不错, 对方是一个有钱有地位的人。(今度の再婚は非常によかった。相手はお金もあれば地位もある人である。)”という文は、10 人中 10 人全員が不自然と判断した。このタイプが動詞コピー構文と共起できない理由は不可離詞「A+B=AB」型と同じである。
- 10) 沈家煊 1995:370 は動作が“有界(終端あり)”と“无界(終端なし)”の区別が存在すると主張する。“有界”動詞は時間軸においては起点と終点があり、“无界”動詞は起点があるが、終点がない。“想(想う)”、“跳(ジャンプする)”は起点があり終点のない“无界”動詞の例である。一方、“散(バラバラになる)”は起点も終点もある“有界”動詞である。

<引用文献>

- 出羽達也 2008. 「依存構造解析に基づく中国語離合詞処理」, 『言語処理学会第 14 回年次大会発表論文集』: 217-220 頁。
- 范晓 1993. 「复动“V 得”句」, 『语言教学与研究』第 4 期: 57-74 頁。

- 李讷·石毓智 1997.「汉语动词拷贝结构的演化过程」,『国外语言学』第3期:32-38页。
- 刘培玉 2012.「动结式重动句构造的制约机制及相关问题」,『汉语学习』第5期:35-42页。
- 刘雪芹 2000.「重动句的类别」,『扬州大学学报』第4卷第5期:48-51页。
- 刘雪芹 2011.「现代汉语重动句宾语指称意义研究」,『汉语学报』第1期:56-64页。
- 刘雪芹 2012.『现代汉语重动句研究』上海:学林出版社。
- 刘雪芹 2013.「论现代汉语重动句的不平衡性及其形成动因」,『南京师范大学文学院学报』第3期:183-188页。
- 沈家煊 1995.「“有界”与“无界”」,『中国语文』第5期:367-380页。
- 施春宏 2010.〈动词拷贝句句式构造和句式意义的互动关系〉,《中国语文》第2期,99-113页。
- 唐翠菊 2001.「现代汉语重动句的分类」,『世界汉语教学』第1期:80-86页。
- 王灿龙 1999.「重动句补议」,『语文研究』第2期:122-125页。
- 王红旗 2001.「动结式述补结构在把字句和重动句中的分布」,『语文研究』第1期:6-11页。
- 王一平 1994.「从遭受类动词所带宾语的情况看遭受类动词的特点」,『语文研究』第4期:28-34页。
- 项开喜 1997.「汉语重动句式的功能研究」,『中国语文』第4期:260-267页。
- 杨玉玲 2004.「重动句研究综述」,『汉语学习』第3期:37-42页。
- 赵新 2002.「试论重动句的功能」,『语言研究』第2期:28-31页。
- 周飞 2011.「离合词的特点及其成因」,『语言文字』第11期:133-134页。
- 钟晓勇 2010.「重动句宾语指称性分析」,『世界汉语教学第24卷』第2期:199-211页。
- Goldberg, Adele. 1995. *Constructions: A Construction Grammar Approach to Argument Structure*. University of Chicago Press, Chicago.

〈用例出典〉

《北京大学中国语言学语料库》(<http://ccl.pku.edu.cn/>)。北京大学中国语言学研究中心。

《北京语言大学汉语语料库》(<http://bcc.blcu.edu.cn/>)。北京语言大学汉语国际教育技术研发中心

主指導教員 (朱繼征教授)、副指導教員 (大竹芳夫教授・土屋太祐准教授)